

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	NA	ご意見	工夫している点・改善目標等
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	2	0	0		今後活動によっては、外部の活動場所(公民館等)を借りるなどし、活動に合わせたスペースの確保に努めたい。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	2	0	1		必要配置基準を満たした体制としている。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	3	1	1	自分の子が使うものではないのでよく分からない	スロープ、手すりなどは現状必要としている利用者はおらず未設置。おやつ時や靴の脱ぎ履き時など、必要な人には背もたれの椅子を都度提供するなど個別の対応を行っている。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	24	0	0	0	嫌なことを本人に確認し誘ってみて、それでも嫌な場合は他のプログラムを用意してくれて	作成責任者となる児童発達管理責任者の他に、指導員の意見を加えた計画・評価を保護者に確認して頂き、必要時加筆修正していただき、計画の作成を行っている。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	23	1	0	0	掃除の作業が多いような気がする。	月間予定を作成する段階で内容が重ならないように配慮が必要。季節行事の調理活動などに関しては内容が被らないよう複数メニューを用意するなど配慮している。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	13	4	0	現状を知らないが不必要だと思う	十分な交流機会はつくれていない。公園や児童館にいる子ども達とは年齢層も異なるため、遊びではなく行事(バザーや福祉祭り、ハロウィンなど)で関わる機会をつくっている。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	2	1	0		活動の意図や目的が明確に伝えられていない部分もあるため、面談の機会などを活用し、疑問の解消に努める。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	1	0	0		半年に1度の面談の実施。その他必要に応じて、メール・電話等でのやり取りを行っている。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	2	0	0		8と同様
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23	1	0	0	あまり参加できずすみません。	父母会の設置はないが、2017年度は2回の保護者会を開催。1度は子どもも含めた親睦会にてきょうだい児の参加もあり。1度は卒後の会と連携し、卒後の保護者との交流(情報交換)の場としても機能。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	3	0	1		保護者の方からの連絡に対して返信が遅れてしまうこともあるため、処理の役割分担と伝達を徹底する。事案によってすぐに返答ができない場合は、職員間で議論して統一させたのちにお知らせする場合もある。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	1	0	0		日常的には連絡帳、提供記録のツールや自宅送迎の際に様子を報告している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	NA	ご意見	工夫している点・改善目標等
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	0	0	0	苦情の有無を知らないのでは何とも・・・	会報は年に2～3回不定期刊行をしている。また法人のホームページ内にブログを作成して活動の様子を伝えている。自己評価については今年度よりホームページ上に公開予定。
	14	個人情報に十分注意しているか	23	1	0	0		個人情報が発行の届く範囲に不必要にあることもあるため、配置や保管方法等の見直しが必要。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	2	0	0		防犯については、今後作成する必要があると考えるがまだ未設置。緊急時対応、感染症対応などは法人内規定を設け、保護者へは年度当初に配布済み。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	0	0	0		月次の避難訓練を火事、地震を隔月で行っている。当日のスケジュールで実施できない日もあるため、振替実施ができるよう引き継いでいく必要あり。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	21	3	0	0	子どもが不安定なので様子を見ながら利用させてもらっている	各児童に楽しんでもらえるような企画立案を心がけているが、今後児童本人の希望を聞き、叶えられるような機会をつくりたい。
	18	事業所の支援に満足しているか	23	1	0	0	家庭ではできない事を経験させて頂いている	安心できる事業所内の活動をベースとしながら、ホビークラブの実施や、長期休みの外出活動など、年齢に応じた狙いや行き先などを考慮し、活動を提供していく。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。